



白門板橋

編集発行 中央大学学員会
東京板橋区支部
174 板橋区高島平4-24-5
TEL 3550-3300

1996. 10.1 第8号



支部長就任挨拶

支部長 小日向 孝介

朝夕はめっきり涼しくなり、漸く周囲に秋の気配を感じる季節となりましたが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私は先の支部総会の決議にもつき開催された八月三〇日の幹事会において支部長に選任され、前任者の貴重な実績を継承することになりました。誠に未熟者ですが、他の役員共々任期一杯支部活動に専念する心算でありますので、会員の皆さまの暖かいご支援を心からお願ひ申し上げます。

すでにご案内の通り日本経済は景気回復も一進一退で、母校や学員会本部の運営は極めて厳しいものがあろうかと推測されます。当支部におきましても、この不安定な経済環境にあつて、本部と共働して百年余の母校の伝統の維持と発展のため苦境打開に向つて邁進したいと思ひます。

当面、当支部の活動方針として考えられる主要項目を略記すると、第一に学員会本部との交流を積極的に図り、相互の理解と協力関係を推進すること。次に引続き会員増強運動を継続して実施し、支部の安定化と経済的基盤の確立を図ること。また、他支部との交流を活発に進め、情報交換により相互の親睦を深めること。第三に支部の尚一層の活性化を図るため、サークル活動の範囲の拡大と内容の充実に直接間接支援すること。であります。これにより当支部規約が目的とする「会員相互の親睦を図り中央大学の興隆に寄与すること」にそつた貢献をしたいと考えます。

なお、同日の幹事会において同時に選任委任を受けました幹事の増員及び常任幹事並びに支部役員については、別掲の会員に委嘱いたしました。いずれの(次ページ)に続く

第八回定時総会を盛大に開催

新支部長に小日向孝介氏が就任

平成八年六月二三日(日)、午後六時より、板橋区立文化会館四階大会議室において、当支部の第八回定時総会を開催した。出席者は七十一名におよび、議案は円滑に可決され、引続いて行った懇親会も大いに盛り上がった。可決された議事は次の通りである。

なお、任期満了の役員改選は、「幹事」の留任を承認し、八月三十日に行われた幹事会で、濱支部長が任期満了で退任、新支部長に小日向孝介氏が選任され、別掲の各役員を新支部長に一任することで承認された。

第一号議案 平成七年度事業報告及び収支決算報告

(自 7・4・1 至 8・3・31)

- (1) 事業報告
- 7・4・8 学員会主催の観桜会に参加(多摩キャンパス) (四名)
 - 7・4・15 第三十回囲碁会(成増区民センター・和室) (十名)
 - 7・4・28 正副支部長会・総会日程打合せ(ジロー) (四名)
 - 7・5・11 会計監査会(小日向事務所) (七名)
 - 7・5・16 幹事会(南常盤台集会所) (三十四名)
 - 7・5・16 第二回ゴルフ会(ノーザンカントリークラブ) (八名)
 - 7・5・26 総会資料作成(常盤台一丁目集会所) (五名)
 - 7・5・26 正副支部長会() (五名)
 - 7・6・16 定時総会及び懇親会(板橋区立文化会館) (九十二名)
 - 7・6・17 第三十一回囲碁会(成増区民センター・和室) (九名)
 - 7・8・19 第三十二回囲碁会(成増区民センター・学員プロ棋士の河合

- 八段を招き、指導碁会・謝礼十万円は学員会本部が負担) (十名)
- 7・8・25 会報、名簿用アンケート、写真発送 (五名)
- 7・9・16 新年会の場所、日程打合せ(ジロー) (二名)
- 7・10・21 第三十三回囲碁会(成増区民センター・和室) (十名)
- 7・10・25 サークル活動推進方法討議(ジロー) (三名)
- 7・10・26 第三回ゴルフ会(寄居カントリークラブ) (十二名)
- 7・10・31 旅行会打合せ(栗山事務所) (四名)
- 7・11・12 秋の旅行会・区の保養所「箱根荘」一泊 (十五名)
- 7・11・24 幹事会(南常盤台集会所) (二十八名)
- 7・12・21 第一回カラオケ同好会(下赤塚) (四名)
- 7・12・23 第三十四回囲碁会兼忘年会(成増区民センター) (十一名)
- 8・1・13 正副支部長会(常盤台一丁目集会所) (五名)
- 8・1・27 新年会(中央大学駿河台記念館) (六十三名)
- 8・2・18 第三十五回囲碁会(成増区民センター) (五名)

~~~~~(支部長就任挨拶・前頁より続く)~~~~~

役員も、それぞれの分野において、豊富な経験と深い知識を持ち、かつ積極的な行動力を有する方々です。そして長い期間役員として支部活動に専念され、今般顧問、参与にご就任戴く諸先輩に心から敬意と感謝を申し上げますと共に会員の皆さまの支部運営に対するご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## (2) 収支決算報告書

## 【収入の部】

(単位円)

| 科目     | 予算額       | 決算額       | 増減差       | 備考             |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------------|
| 年会費    | 600,000   | 735,000   | 135,000   | 3,000円×245名    |
| 総会会費   | 600,000   | 552,000   | △ 48,000  | 6,000円× 92名    |
| 旅行会会費  | 750,000   | 218,000   | △532,000  | 15名            |
| 新年会会費  | 600,000   | 504,000   | △ 96,000  | 8,000円× 63名    |
| 幹事会会費  | 70,000    | 122,000   | 52,000    | 34名、27名@2,000. |
| 寄付金    | 100,000   | 50,000    | △ 50,000  | 総会・新年会         |
| 受取利息   | 35,000    | 1,480     | △ 33,520  |                |
| 本部交付金  | 0         | 0         | 0         |                |
| 雑収入    | 5,000     | 10,500    | 5,500     |                |
| 前年度繰越金 | 963,673   | 963,673   | -         |                |
|        |           |           |           |                |
| 計      | 3,723,673 | 3,156,653 | △ 567,020 |                |

## 【支出の部】

(単位円)

| 科目    | 予算額       | 決算額       | 増減額      | 備考                           |
|-------|-----------|-----------|----------|------------------------------|
| 総会費   | 600,000   | 481,787   | △118,213 | 文化会館 7.6.16                  |
| 旅行会費  | 750,000   | 218,000   | △532,000 | 箱根 7.11.12~13                |
| 新年会費  | 600,000   | 421,141   | △178,859 | 中大記念館 8.1.27                 |
| 幹事会費  | 87,500    | 113,590   | 26,090   | 南常盤台 7. 5.16<br>南常盤台 7.11.24 |
| 広報作成費 | 120,000   | 123,909   | 3,909    |                              |
| 名簿作成費 | 100,000   | 102,400   | 2,400    |                              |
| 印刷費   | 60,000    | 76,714    | 16,714   |                              |
| 通信費   | 100,000   | 160,460   | 60,460   |                              |
| 会議費   | 120,000   | 50,172    | △ 69,828 |                              |
| 会議会場費 | 80,000    | 55,495    | △ 24,505 |                              |
| 事務所費  | 60,000    | 60,000    | 0        |                              |
| 事務用品費 | 20,000    | 18,266    | △ 1,734  |                              |
| 慶弔交際費 | 50,000    | 30,000    | △ 20,000 | 橘、広田、藤岡、<br>島山、山田の各氏         |
| 同好会補助 | 30,000    | 22,800    | △ 7,200  | 囲碁会                          |
| 手数料   | 0         | 9,900     | 9,900    | 郵便振替                         |
| 雑費    | 5,000     | 205       | △ 4,795  |                              |
| 予備費   | 941,173   | 1,211,814 | 270,641  | 当期剰余金 248,141.               |
| 計     | 3,723,673 | 3,156,653 | △567,020 |                              |

## 貸借対照表

## (3) 中央大学学員会東京板橋区支部 (平成 8 年 3 月 31 日現在)

(単位円)

| 資産の部   |                     |           | 負債・資本の部 |    |           |
|--------|---------------------|-----------|---------|----|-----------|
| 科目     | 内訳                  | 金額        | 科目      | 内訳 | 金額        |
| 現金     | 手許在荷                | 175,910   | 繰越剰余金   |    | 963,673   |
| 普通預金   | 住友・常盤台              | 4,413     | 当期剰余金   |    | 248,141   |
| 普通預金   | 第一勧銀成増<br>(1718679) | 705,447   |         |    |           |
| 郵便振替口座 | (8-568929)          | 98,720    |         |    |           |
| 郵便定額貯金 | (3728043)           | 72,000    |         |    |           |
| 郵便定額貯金 | (3728043)           | 23,000    |         |    |           |
| 投資有価証券 | 岡三証券金貯蓄             | 132,324   |         |    |           |
|        |                     |           |         |    |           |
| 合計     |                     | 1,211,814 | 合計      |    | 1,211,814 |

以上の通り決算報告いたします。

平成8年5月11日

支部長 浜 巖

会 計 栗原 三郎 久米 英雄

以上支部の決算につき監査の結果、適正に且つ適法に表示していると認めた。

平成8年5月11日

幹 事 小日向孝介<sup>㊟</sup>

森 英正<sup>㊟</sup>

第2号議案 平成8年度事業計画 (案)

1. 会員の拡充、強化
2. 親睦会の開催
  - (1) 観桜会 (支部・学会本部) 4月 (実施済み)
  - (2) 小旅行会 (牛久大仏・牛久シャトウ) 4月13日(土)
  - (3) 旅行会 11月17日(日)~18(月)日に実施予定
  - (4) 新年会 平成9年1月に開催予定
3. 同好会活動の促進
  - (1) 囲碁会 (偶数月の第三土曜日)
  - (2) ゴルフコンペ (年2回予定)
  - (3) カラオケ同好会
4. 広報「白門板橋」発行

平成8年度予算 (案)

【収入の部】

【支出の部】

(単位円)

| 科 目    | 金 額       | 備 考       | 科 目    | 金 額       | 備 考 |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-----|
| 年会費    | 660,000   | 220名×3000 | 総会費    | 600,000   |     |
| 総会会費   | 600,000   | 100名×6000 | 旅行会費   | 600,000   |     |
| 旅行会会費  | 600,000   | 20名×30000 | 新年会費   | 480,000   |     |
| 新年会会費  | 480,000   | 80名×6000  | 常任幹事会費 | 50,000    |     |
| 常任幹事会費 | 50,000    | 25名×2000  | 幹事会会費  | 120,000   | 2回  |
| 幹事会会費  | 120,000   | 30名×2000  | 広報作成費  | 120,000   |     |
| 寄付金    | 50,000    |           | 名簿作成費  | 0         |     |
| 受取利息   | 5,000     |           | 印刷費    | 60,000    |     |
|        |           |           | 通信費    | 160,000   |     |
|        |           |           | 会議費    | 50,000    |     |
|        |           |           | 会議会場費  | 80,000    |     |
|        |           |           | 事務所費   | 60,000    |     |
|        |           |           | 事務用品費  | 20,000    |     |
|        |           |           | 慶弔交際費  | 50,000    |     |
|        |           |           | 同好会補助  | 50,000    |     |
|        |           |           | 雑費     | 5,000     |     |
| 前年度繰越金 | 1,211,814 |           | 予備費    | 1,271,814 |     |
| 計      | 3,776,814 |           | 計      | 3,776,814 |     |

第四号議案 役員改選

任期満了にともない、役員改選が行われたが、「幹事」の留任のみが承認され、支部長以下の選任は、後刻招集する幹事会で決定することになった。(八月三〇日に開催した幹事会で新支部長に小日向孝介氏を選任し、他の役員は新支部長に一任することに決定し、その結果、次の役員が就任した)。

※氏名の上の☆印は新任を表します。

|      |               |    |              |                |
|------|---------------|----|--------------|----------------|
| 顧問   | 田永 嘉彦 (昭十四年)  | 幹事 | 小宮 仁 (昭五九年)  | ☆蒲生 年公 (昭三二年)  |
| 参 与  | 色川 昭雄 (昭二八年)  |    | 山下部逸男 (昭二一年) | 松山 幸次 (昭三一年)   |
|      | ☆牧 吉雄 (昭二八年)  |    | 相原 忠志 (昭二五年) | 大泉 喜義 (昭三二年)   |
|      | ☆秋元 平馬 (昭二九年) |    | 小野沢隆一 (昭二六年) | ☆佐藤 義 (昭三二年)   |
|      | ☆武内 崇泰 (昭二九年) |    | 横田 茂 (昭二六年)  | 星野 昭 (昭三二年)    |
|      | ☆栗山 秀男 (昭三〇年) |    | 猪谷 実 (昭二七年)  | 飯島 健市 (昭三三年)   |
| 支部長  | 小日向孝介 (昭二九年)  |    | 佐藤 幹夫 (昭二七年) | 榊原 弥吉 (昭三三年)   |
| 副支部長 | ☆森 英正 (昭三二年)  |    | 鶴岡 俊雄 (昭二七年) | 村上 隆之 (昭三三年)   |
|      | ☆池田 巨利 (昭四一年) |    | 原 素之 (昭二七年)  | ☆垣内 茂 守 (昭三四年) |
| 監 事  | ☆栗原 泰房 (昭二五年) |    | 大庭 登 (昭二八年)  | ☆大森 守 (昭三四年)   |
|      | ☆水野 公一 (昭二五年) |    | 高橋 勝徳 (昭二八年) | 須藤 通郎 (昭三七年)   |
|      | ☆岩沢 忠弘 (昭二九年) |    | 田中 泰治 (昭二八年) | 川口 正 (昭三四年)    |
| 会 計  | ☆坂井 健二 (昭二九年) |    | 長田 至弘 (昭二八年) | 内田 繁夫 (昭三八年)   |
|      | 久米 英雄 (昭四〇年)  |    | 谷口 欣一 (昭二八年) | 大畑 宣博 (昭三八年)   |
| 事務局長 | 片桐 久雄 (昭三六年)  |    | 堀田 澄人 (昭二八年) | 古沢 政和 (昭三九年)   |
| 常任監事 | 西崎 為二 (昭九年)   |    | 矢吹 尚武 (昭二八年) | 松原 成光 (昭三九年)   |
|      | 関 正夫 (昭二二年)   |    | 本橋 順 (昭二九年)  | 吉岡 和子 (昭四一年)   |
|      | 清水 治男 (昭一三年)  |    | 中路 義雄 (昭三〇年) | 豊田 哲夫 (昭四一年)   |
|      |               |    |              | ☆管 東一 (昭四二年)   |
|      |               |    |              | 徳永 勝彦 (昭四二年)   |
|      |               |    |              | 小林 武男 (昭四六年)   |
|      |               |    |              | 竹中 義成 (昭四七年)   |
|      |               |    |              | 榎本 都行 (昭五一年)   |
|      |               |    |              | 谷本 貞雄 (昭五四年)   |
|      |               |    |              | 新村 一臣 (昭五六年)   |

# 懇親会

総会終了後、懇親会に移行した。今回は学員会本部、大学側からのご来賓をお招きせず、会員のみの懇親会となった。

恒例となった、大正十四年卒業で最長老の園田嘉三大先輩の乾杯の音頭により、会は始まった。

会員である石塚輝雄板橋区長も公務多忙のなか駆けつけて祝宴に参加し、ご挨拶をいただいた。

総会に初めて出席した会員の紹介が行われ、自己紹介に対して、歓迎の拍手が贈られた。

盃が進むにつれて、議論の輪がひろがり、会は和やかなうちにも盛り上がりつつあった。

一同は欲も尽きぬまま、恒例の校歌、応援歌、惜別の歌を肩を組み合せて斉唱し、散会した。

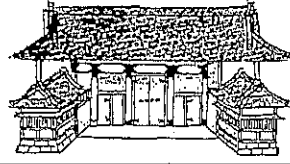
なお、総会後二カ月後に招集された、幹事会は未だかつてない四三名が出席し、前述の通り、支部長を選出したが、その半数近くが、二次会に繰り出し、新支部長を中心に、カラオケ大会となり、大いに盛り上がったことを付記しておきます。

はじめに ■

日常生活の中で、「知ってるつもり」のことも、改めて問われると知らないことが多いものです。別に恥ずかしいことではなく問われたとき、どう対応するかが大切なのではないだろうか？ つま

## 地名の由来

# 加賀



り、「知らないこと」を放置しないで知ろうとする努力をする人がエライのであって、そういう人を尊敬したい。

何事にも興味を示し素朴な疑問にも研究心を持ちたいものです。なぜなら、そういう人を若いというそうです——。

なぜ加賀なのか ■

わが板橋区には、加賀という地名がある。地元で育った氏は、「その昔、加賀前田藩の下屋敷があったんですよ」と、少しばかり誇らしげに話してくれたが、それ以上の説明はなかったように思う。かつて母校・中央大学の別称『白門』の由来を調べたとき、関連して東京大学の別称である『赤門』の由来も調べたことがあるので、にわかに興味をわいて検証してみた。

加賀前田藩の上屋敷は、当初徳川御三家並みに江戸城内の大手門の前にあつたが、明暦三年（一六五七）の大火があつてから、類焼を防ぐため本郷の下屋敷後へ移転し、文政十年（一八二七）に十一代將軍家齊の女・溶姫が前田家に嫁ぐことが決まつたとき、三位以上の大名に、將軍家から嫁ぐ女を御守殿と敬称することから、前田家では朱塗りの御守殿門（赤門）を建造して敬意を表した。

加賀前田藩の上屋敷には、明治維新以後、新政府により東京帝国大学（現在の東京大学）が設けられて今日に至っている。

元下屋敷の地 ■

ここまで検証を進めると、本郷の地にあつた加賀前田藩の下屋敷が、上屋敷になったことで追い出しを食った格好になったが、中山道の宿場町で栄えていたとはいえず、板橋の現在地に移転したのは何故だろう。江戸城からは遠くなったが国許からはむしろ至便の地で、屋敷住まいの家臣たちにとっては宿場町の一角に気楽な暮らしかできたのかも知れない。千住の宿、内藤新宿及び品川宿とともに板橋の宿は、「仲宿」という地名が示すようににぎやかなこと、周囲は農村地帯で雑穀類や野菜類に不自由はなかつたせいだ。

現在の地名は、昭和四十年の住居表示変更で加賀藩にちなんでつけられたもので、町内には金沢小学校、加賀中学校、金沢橋及び加賀公園など加賀にちなむ名が多く残っている。豪華だったといわれる庭園は、現在その一部を加賀公園の中に見ることができている。

足立区の加賀は、加賀前田藩とは何も関係なく、地名の由来は調べると大変面白い。  
〔「東京の地名由来事典」他より〕

## 編集後記



▼先輩の方々が創刊し、年一回とはいえ八号まで継続して発行した『白門板橋』を、今年から若輩のスタッフで引き継ぐことになりました。知恵を出し合つて楽しく読んでもらえる誌面づくりをめざして頑張ります。

▼雑誌でも、創刊するのは比較的容易にできるものとされていますが、継続して刊行するには大きな努力が要ります。一号一号の積み重ねが、板橋区支部の歴史を刻んで、まさに「継続は力」を実証してくれています。前任の先輩の方々に心からご苦労様でした、とお礼を申し上げます。

▼栗原三郎常任幹事の計らいで母校・中央大学の高木友之助総長が駿河台記念館へ所用で見えたとき『白門板橋』の題字を揮毫して貰うことができました。全く幸運なことで、スタッフ一同思わず万歳——。

（編集スタッフ一同）